寄贈された受講ノート(一部)

吉の万葉集、日本書紀、大

民俗学や国文学史、武田祐

受講ノートは折口信夫の

「氣多はふりの家」

FAX

総合企画部広報課

〒 150-8440 東京都渋谷区東四丁目 03 (5466) 0130

kouho@kokugakuin.ac.jp www.kokugakuin.ac.jp

03 (5466) 0528

口信夫博士没後

月3日に「60年祭」が執り行われた。 月3日に亡くなってから80年の節目の年となる。石川県羽咋市の藤井家では、 今年は、本学元教授で国文学者・民俗学者である折口信夫博士が、昭和28年9 また、本学や羽咋市では記念の展示会や講

王は折口博士の弟子でもあ る岡野弘彦本学名誉教授が 『夫の養子・春洋(本学元 授)の生家「藤井家」で 60年祭が斎行された。斎 羽咋市寺家町にある折口 ープンカレッジ受講生な 2日に前夜祭が、3日 本学関係者と卒業生、 遺族や地元の関係 終了した。 ち」となった。 と藤井春洋が残した各1首 の御霊に語りかけた。続い 上げ、折口信夫・春洋父子 岡野名誉教授が祭詞を読み 串を捧げ、 翌朝営まれた年祭では、 参列者全員で折口博士

斎主らが玉 ・年祭は

開催。同市ゆかりの折口父

羽咋市歴史民俗資料館で

8月1日から9月16日

年記念の講演会や企画展を

羽咋市では、折口没後60

の岡野名誉教授があいさつ 口信夫・春洋父子の御霊を どを語った。前夜祭は、折 先生の

魂は

穏やかに

我々を 日の年を迎えた今の思いな 見守っていると思う」と節 午後6時から執り行われ 中立 斎主 て参拝。父子の墓には、硫 黄島で没した折口春洋を嘆 内にある「折口信夫父子の 墓」にタブの小枝を手向け にたる その後、 「もっとも苦しき 墓誌には自ら筆を取っ 信夫の墓」と記して むかしの陸軍中尉 最くるしみ 参列者は寺家町 ならびにその

し、「60年の月日が経ち、

に前夜祭では、

約50人が参列した。

その他、折口信夫没後60

1時間ほどで

井家が所蔵する折口父子が るまれびと折口信夫」と題 口博士記念古代研究所や藤 した記念展を開催。 (月・祝) まで 「羽咋に眠 本学折

に万葉集に詠われた

いる。 授が、折口信夫の詩「きず つけずあれ」を朗読した 墓前で、岡野名誉教

60年 9

後

参列者全員で手を合わ

スマホをかざすと学報が動く!

ダウンロードと使い方

アプリをダウンロード(無料)

● iPhone は「App Store」、Android 端末は

検索窓に「かざすンAR」と入力し検索。

❸ 検索結果から「かざすンAR」を選択します 《iPhone》「無料」ボタンを押すと「イ ンストール」と表示され、インストールボ タンをタップするとパスワード入力画面が 表示されます。ご自分の「Apple ID」とパ

「Google Play」を開き「検索」

政折口信夫博士

咋市では記念イベント·

年記念講演会と講座 嵐山光三郎氏が「折口信夫 開催した。1日は、作家の コスモアイル羽咋を会場に 口父子記念会主催)を9月 市・羽咋市教育委員会・折 からの手紙~」と題して讃 と藤井春洋~春洋、硫黄島 1日から3日間にわたって 「折口信夫の常世論」を讃 小川直之文学部教授が 翌2日の市民講座で

が折口博士記念古代研究所 **曹籍4冊など、合計約9点** 武田祐吉著『国文学 神祇文学篇』などの

巳氏(昭13卒・46期学国 子息・加藤正芳氏から、克

このたび故加藤克巳氏の

文)が本学在学中に筆記し に受講ノート35冊、

研究」、釋迢空歌集『春の 又「短歌形式成立に関する

京都府綾部市に生まれ、昭

加藤克巳氏は、大正4年

故加藤克巳氏(昭和59年撮影)

科へ入学、同10年4月には 和8年4月に国学院大学予

小説『死者の

(羽作 本の論文の一部から、折口 えで、折口信夫が記した2 自身が考えた「常世」の概

岡野名誉教授の実家の神社

話(四)」と題して講演。 けでもある」と語った。 価値観や世界観への問いか 祭の斎主を務めたばかりの とは、「今を生きる人間の た。最後に小川教授は、 念が、大正12年に調査で沖 変化していることを紹介し 縄を訪れたことを境にして 「常世」について考えるこ 最終日3日の講演は、 年

り、「折口信夫は心の真実 古事記の一節や学生時代の 折口信夫の逸話を交えて語 折口博士没後60 国学院大学博物館

で

のみならずインフラスト

フクチャーの整備が注目

肌東京五輪は、会場施設

された。東海道新幹線や

復興を遂げた日本を世界 ある。敗戦から未曾有の 輪は、前東京五輪以来で

に披露した1964年の

院大学博物館では、 年記念展 折口信夫・釋迢 22日(日)から10月27日 折口博士自筆の羽織裏地や 記念古代研究所が所蔵する ィアセンター内にある国学 (日) まで企画展 「没後60 渋谷キャンパス学術メデ 入場は無料。折口博士 9月 れも1時間の予定。

(年記念展を開催 皿の歌墨、 から、第2回が10月26日 10月12日(土)午後2時 る。また、会期中に、 などが今回初めて公開され ークを開催予定。第1回が 教授によるミュージアムト (土)午後4時から、 戲画集「菊石帖」 自作歌帖「鸛

から情熱を燃やしていた を追求することに若いころ と講演を締めくくった。

スワードを入力し「OK」ボタンを押すと、自動的にインストールされます。 《Android》「インストール」 ボタンを

世」について解説。

そのう

の御祭神にまつわる話を、

タップするとダウンロードが始まり「インス ール済み」と表示されると完了です。 ⑤ 位置情報を利用しますか?と表示される ので「OK」ボタンを押します。数秒立っ てカメラモードになり、画像を読み取れる ようになります。

- ◇iOS4以上を搭載したiPhone、iPad およびAndroid OS2.2以上を搭載した Androidに対応しています(一部対応 していない端末もあります)。
- ◇ダウンロードは無料ですが、通信に費 用がかかる場合があります。
- ◇通信環境によって、 写真にかざした を がかかる場合があります。 コードを読み込める機種では OQRコードからかざすンARの 4アプリを入手できます。

QRコードを読み込める機種では 右のQRコードからかざすンARの 無料アプリを入手できます。

れ、今東京は7年後の開 でも大きく取り上げら

れた。各メディア 市に、東京が選ば

ている▼日本での夏季五 催に向けて五輪で彩られ



9月7日、ブエノ

左のマークが付いた写真などに スマホをかざしてみましょう

> ンピック・パラリ 20年の夏季オリ

会において、20 際オリンピック総 人アイレスでの国

ンピックの開催都

国学院雑誌10月号は折口学特集

国学院雑誌10月号では、「折口学の可能性を拓く」と題 した特集を企画。本学の学統ともいえる「折口学」に焦点 をあてる。また、近年、本学で研究が行われている折口博 士の講義の受講ノートに関する資料紹介も掲載する。10月 下旬刊行予定。国学院雑誌に関する問い合わせは、広報課 まで (含03・5466・0130)。

いては幻の1940年大

名である▼東京五輪につ 目都高速道路の開通は有

故加藤克l 卒業論文など約90点が寄贈

トが寄贈されたのは初め

歳で逝去された。

任講師も変

論文の審査は武田祐吉、折 学部国文学科へ進学。

卒業

祭詞を奏上する岡野名誉教授(羽咋市の藤井家で)

和歌史、小柳司気太の日本 **漢文学史、筧克彦の神道概** 国語学のほか、鳥野幸次の 輪など、予科ならびに学部 だ!折口信夫全集ノート篇 製は受講ノートをもとに. されている。折口信夫の 煛、竹取物語、金田一京助の の講義内容が丹念に筆記

う。加藤氏のノートには沼

を書

作風に影響を受けたとい

ら作歌を始め、 口信夫だった。

木下利玄の 中学時代か

の短歌にも強い関心をもっ

き写したものがあり、 空の『春のことぶれ』

和12年に第一歌集 『螺旋階 てで貴重な資料となる。 加藤克巳氏は卒業前の昭

全18巻があるが、同時代の かも複数の教員の受講が 年には現代歌人協会の結成 段』を出し、『球体』、昭和4 にかかわり、没年まで役員 賞を受賞している。 60年)で第9回現代短歌大 『加藤克巳全歌集』(昭和 で第4回釈迢空賞 昭和31

ている。 口信夫・釋 催の「没後 髙橋大助教授の仲介に拠っ などの寄贈は本学文学部の 加藤氏からの受講ノート tr 第24一情念の伝 お、故加藤克巳 60年記念展 本学博物館で開

達」(右記事参照)でも (文学部教授 小川直之)

か、平成22年5月16日に95 歌写現代短歌史』などもあ も多く、『鑑賞 釈迢空の秀 や評論活動を続けられるな を続けている。評論・随筆 ながている。 作歌 3年度には本学兼 | 程 「近代」を設 下には同会を「個 が、この大会が開催され る結果となる。歴史に を得たものの、当時の国 会がある。ローマ、ヘル を受け、開催を取り下げ シンキをおさえ、開催権 際状況から国内外の批判 「もしも」は存在しない

性」に改めて最期まで指導

38

また、昭和28年

ることを期待したい。 の思惑が絡むのはいかが ることも少なくない。健 何よりもスポーツの祭典 の感動が世界に発信され 開催され、東京から数々 全なスポーツに、国家間 きな感動を与える。しか での競技は、世界中に大 の拡充から新東京の誕生 会場をはじめ、施設設備 選手が来日する。メイン 界から注目され、多くの 変化するのだろうか。世 年後の東京はどのように か、興味は尽きない▼7 うな五輪都市になったの たなら帝都東京はどのよ なものか▼五輪が無事に 題からボイコットを受け が待ち望まれる▼そして 五輪の歴史も、国際問

シンポジウムで10年の歩みを振り返る

と述べた。澁澤氏は、 が一変してきたことを指摘 本人の価値観や社会、環境 髙度経済成長期を境に、日 ワーク協会理事長の澁澤書 0年続けないと森林は守れ と人間の時間は違う。10 PO法人樹木・環境ネット **それぞれ問題を抱えている 教職員・学生が出席した。** に汗を流した。 氏が、「森づくりからま 第1部の基調講演で、

域住民と交流を図る「国学 院大学里山づくりプロジェ が間伐体験などを通じて地 岩手県紫波町で、学生ら 原彰名誉教授、柿沼秀雄文 学部教授と学生らが7月31

年目を迎えた。今年は、楠 日から8月5日まで同町を ポジウムなどを行った。 訪問。里山での間伐体験に

業を行った里山は、町内の 民の指導の下、間伐作業を 16年に始まり、毎年地域住 林で作業を行い、学生たち 5カ所。今年は、昨年に続 行ってきた。これまでに作 の妨げとなる木の伐採など は枝打ちや周囲の木の成長 き片寄地区の個人所有の山 間伐体験ツアーは、平成 ネーターとなり、藤原孝紫 ない」と説いた。

続いて行われたシンポジ

重な場。今後も継続してい

となって作り、出会える貴

動は地元の人と学生が主体 イベントを終えて「この活 は、同プロジェクト10周年

澁澤氏がコーディ

きたい」と語った。

は、町内中心部の複合施設 主催で、本学協賛)が開催さ 季夫副学長•人間開発学部 れた。本学を代表して加藤 りからまちづくり」(紫波町 ト10周年記念事業「森づく 大学里山づくりプロジェク 教授と間伐体験に参加した オガールプラザ」で国学院 8月4日午後2時から 地元住民にもマイクが向け 10年前にこの間伐体験ツア られた。シンポジウムは、 で受け入れに協力してきた 授、ツアー参加者やこれま 会場に集まった楠原名誉教 ーのきっかけから始まり、 がパネリストとなって進め 田万穂さん(史4)ら4人 学生団体・森木会代表の岸 中心となって推進してきた 波町長、間伐体験ツアーを

Ç

の宿泊施設「ラ・フランス の立場から、今後の抱負や 手が送られた。シンポジウ 立てたと実感できた」と感 温泉館」に移して祝賀会が 後6時からは、 課題が述べられ終了した。 ムは、同町と本学それぞれ 想が述べられ、聴衆から拍 シンポジウム終了後の午 学生からは「誰かの役に 地元住民と本学関 会場を町内

学生合わせて約70人





料面を中心部に向かっ

新たにトレンチの

に答えていた。

業について、一つ一つ丁寧

実習生は現在行っている作

今回の調査では石室

た。同古墳は公園内にある

こともあり、観光客から声

破片や鉄鏃などが出土し 室内から7世紀の須恵器の

古

をかけられることも多く、

削作業を行った。

ともあったが、 実習中は雨の影響 作業が中断するこ

年生が主体となって作業が われているため、2・3

る承認がなされた。

が行われ、会は終了した。

センターカフェラウンジ

若木が丘」に移し懇親会

法」の授業の一環として行

この実習は「考古学調査

安曇野で考古学実習を実施

ってきた発掘調査の技術を 進められる一方、今まで培

伝えるため、4年生や大学

とく ような

ださることは非常に

5卒業生が後輩を指導

た

卒業生も多く、その

み

今年度の調査は終了し

加していた。今回の調査を 院生、卒業生なども多く参

指導する本学史学科の吉田

を実施。

今回の発掘で得ら

査結果を説明した。

711日には現地説明会 がたい」と語った。

月19日からは青森県上北郡

した穂高古墳群に加え、

8

同研究室では、今回調査

東北町にある赤平(遺跡の

長

野

8月3日から10日間の日程 本学考古学研究室が毎年 長野県安曇野市の国営 じめ、 古墳は、本学考古学研究室 が5年前から発掘調査をは 毎年掘り進めてい

行っている考古学実習が、

トレンチ(発掘溝)内に埋 められた土のうの撤去から から作業に取り掛かった。 まず昨年度までに掘られた 実習生は初日の到着直後 始まった。作業は翌日

金・穂高地区)で実施され アルプスあづみの公園(堀

石室から出土した長頚瓶などの遺物

い。各地の教育委員会など の歴史は非常に古く層も厚 恵二教授は「本学の考古学

その経

次年度の調査に備

ぞれの発掘調査結果を報告

調査も実施。今後は、それ

書にまとめる作業に取り掛

掘削作業を行ったトレ

で発掘調査の仕事に携わっ

ンチ内

に土のうを埋め込

かる予定だ。

佳良賞に3氏 哲学会総会

進み、実習4日目には、

石

穂高古墳群F9号墳。この

実習対象は公園内にある

記念1号館1402教室 月27日午後3時3分から、 渋谷キャンパス120周年 国学院大学哲学会は、7 第28回総会を開催し



講演する金杉准教授

年度に 式が行 学科専任教員が指導を行っ の卒業論文のうち、本学哲 第23回哲学会賞の授与 心中から選ばれ、今年 われた。同賞は、昨 澤宜良さん、永田美 |卒業した121期卒業生

された。 授)から賞状と副賞が手渡 卯さん、伊藤遙香さんの3 席した2人に対して、栗田 た。同日は受賞者のうち出 義彦哲学会会長(文学部教 人が「佳良賞」を受賞し

の哲学」が開講された。そ の後、会場を学術メディア に着任した金杉武司准教授 による講演会「脳科学と心 総会後には、この春本学

伊藤氏に 学位記を授与

は、学位申請 のあった伊藤 高雄氏に対 審査の結 果、学位を授 与することを

つくりプロジェクト

周年



決定した。授与式は7月24日午後 4時から渋谷キャンパス若木タワ 一法人会議室で行われ、伊藤氏に 赤井益久学長から学位記が贈られ

学位申請論文は、「言語伝承文 化論」。主査は、小川直之本学文 学部教授。副査は、辰巳正明同教 新谷尚紀同教授。

同氏の審査論文は、折口信夫や 卯田國男による言語伝承論、 研究などを踏まえつつ自らの 周査の成果も含めて、 る言語伝承の実相と、 質を民俗学的に明らかにし したもの。記載文芸と口承と の言語伝承を積極的に関連 言語伝承文化の実相と通用 代性の一面を明らかにした点な 価された。

伊藤氏は、昭和33年生まれ。 本学文学部文学科卒業。 大学院文学研究科博士課程前 本文学専攻修了。61年同大学 院文学研究科博士課程後期日本 学専攻単位修得満期退学。

本学兼任講師、国学院大 学栃木短期大学非常勤講師、武蔵 野大学非常勤講師、横浜国立大学 などで非常勤講師を務める。

国学院雑誌学生懸賞論文

■第一部門▽矢内敬司君(神文3・応

もの」としての人形」

原菜々子さん(哲3・同)「「無気味な 奏当時)「氷川神社の大湯神事」▽寺





凹)「柿右衛門における定義の考察」 ■第二部門▽松浦里彩さん(修2文) 表彰式は7月17日午前10時30分から 委員長・文学部長・教授から贈

で行われた。編集委員らが見 **| 改谷キャンパス若木タワー文学** 受賞者に賞状と副賞が野呂

学生と地元住民が協力して木を倒す

けになっている」と感謝の

森木会会長の岸田さん

学び、人生を考えるきっか ある渋谷で学べないことを にとって紫波町は、大学の

暑され 健編集 守るな 部長室

はた

同

懸賞論文は、今年度も学部生、大学院 (別項参照)。 同誌7月号に掲載されている。 佳作論文のうち松浦さんの論文 研究の奨励のために募集している 専攻科生、別科生の日ごろの学

あった。今後も学生たちの意欲的な学 修・研究成果が積極的に応募されるよ まったが、応募者の学問系統に偏りが 昨年度は、比較的多く応募論文が集 同編集委員会では期待している。

松浦里彩

平成 25 年度の

3編の応募があった。 同編集委員会の

院文学研究科、専攻科在籍者対象)に **者対象)に8編、第二部門(本学大学** 門(本学文・神道文化学部、

平成24年度の国学院雑誌学生懸賞

果、今回は前回、

前々回に続き入選は

以下の3人の論文が佳作に選ば

員会に諮り、厳正な審査を行った結

麥嘱した専門家が査読した上で編集委

国学院雑誌編集委員会では平成25年度 の国学院雑誌学生懸賞論文を次の要領で募 集する。

- ▶応募資格▷第一部門=本学文・神道文化 学部、別科在籍者▷第二部門=本学文学 研究科、専攻科在籍者
- ▶アーマ=題目小問 (卒業論文も可)。
- ▶枚数=400字詰原稿用紙換算30枚~40 枚以内。要旨800字程度・英文タイトル を添付、指導教員名を明記
- ▶締切日=平成26年3月末日(郵送分は 当日消印有効)
- ▶各賞▷入選=各部門1編(賞状・副賞5 万円) ▷佳作=各部門1編(賞状・副賞 3万円)
- ▶発表=同誌第115巻7号に発表とともに 入選および優れた佳作論文を掲載予定
- ▶**投稿先**=本学総合企画部広報課(国学院 雑誌編集担当)。

内

(区) の (ロ) の (の) 和 (打裂に 連絡会 使知義 (た)

准教授らの研究成果公開

松浦武四郎(1818―8)旧蔵

の一環。研究代表者の内川隆志研究

旧蔵資料の研究と公開」の研究成果

00点を整理してきた。

松浦武四郎は、伊勢国一志郡(現 三重県松阪市)生まれ。少年の頃

同コレクション(考古・工芸)約9 開発推進機構准教授らが、これまで

文庫美術館で

(3)

た「博物館における人文資料形成史 22年から3年間にわたって採択され 学術振興会の科学研究費補助に平成 田谷区)で開かれる。同展は、日本 から、静嘉堂文庫美術館(東京都世 松浦武四郎展」が、10月5日(土) 蔵)の特別展「幕末の北方探検家 コレクション(財団法人静嘉堂所

北方に関心を持ち、幕末に計6回、

国後・択捉島を探

から日本全国を旅してきた。中でも

静嘉堂文庫所蔵松浦武四郎

災」(会期7月13日~10月 浜市中区、館長・上山和雄 学生時代の日記が展示され 元学長・佐藤謙三博士の中 14日 〔月・祝〕)に、本学 本学文学部教授)で開催の 半成25年度第2回企画展示 被災者が語る関東大震 横浜開港資料館」(横

できなかったことから、復 がれきの山もなかなか処分 に孤立してしまい、その上 被害は周知されていない 興にもかなりの時間を要し い。また被災地として完全 で、東京よりも被害率は高 9月1日) における横浜の が、その実情は悲惨なもの 関東大震災(1923年 一博士

る本年、その記録として企 たといわれる。 画展示が催された。 関東大震災から99年にな 3~1929」の3施設の

災を扱った横浜都市発展記 念館の「関東大震災と横浜 本展は、横浜の関東大震

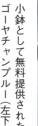
がとらえた震災復興192 横浜市史資料室の「レンズ 廃墟から復興まで」と、

合同企画展示。そのうち横 13歳の佐藤博士の日記が展 を通した記録やエピソード 浜開港資料館では、関東大 一段を被災者という人の目 その一事例として、当時

は『佐藤謙三著作集』(全 5巻 角川学芸出版刊)に じられる。なお、この日記 生の復興への強い意志が感 されている1923(大正 示された。展示解説で紹介 は、当時中学生であった先 括られている。この文に レ、大正十三年。」と締め 12) 年の感想欄には「来 キュウリなど収穫を楽しめる野菜や、ルコウソウやフウ センカズラなど、見て楽しむ植物がバランスよく植栽さ 度よりも範囲を拡大しプランターを設置した。ゴーヤや 6月からは夏季限定の「緑のカーテン」を実施。昨年

横浜開港資料館で展示

任する。学長在任期間は1 その後文学部長、学長を歴 講師を経て、教授に就任。 本学国文科卒業後、助手、 75) 国文学者。文学博士。



かで語られたことの繰り返しでしか 生を知るそれぞれの胸の中に収めら たという連絡を受けてから、もう3 ないが、「山口聡とは誰であったの て、ここに記すのは、おそらくどこ れてしまったはずである。したがっ しまったし、その思い出は、山口先 場で、語られるべきことは語られて か月以上になる。この間、さまざまな 山口聡先生が、お亡くなりになっ

にやさしいキャンパスを目指し、さまざまな活動を行っ

本学の環境保護対策推進プロジェクトでは、自然環境

収穫物を学食で提供

緑のカーテン

として、改めて箇 か」という問いに対 する解答の下書き 条書き風にまとめ

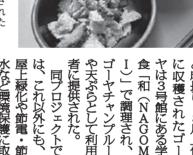
た7月にはぐんぐん と成長し、8月上旬 日照時間が多かっ は疑い得ない。周到な講義計画と授 も群を抜く水準のものであったこと もちろんのこと、大学の講義として その講義は、法哲学の講義としては さまざまな工夫と趣向の凝らされた から推測することしかできないが、 われわれには、山口先生の遺された てみることにする。 教材と、生前の断片的な発言や記録 山口先生は、教育の人であった。

水など環境保護に取 屋上緑化や節電・節

追

悼

文



業計画の下、時間と情熱

赤井学長(写真中央)、 植村法学部教授(同右) と談笑する山口准教授

た。立場上沈黙を守ることもあった

彩注いで

作 通すことに固執するわけではなく、 交渉をしたくてやっているわけでは ぼ」の関西人であった。 ないといいつつ、自己の主張を押し も、本質的には「しゃべってなん 画する姿勢を明確にしていたけれど し、とりわけ学生に対しては一線を

山口先生は、交渉の人であった。

口聡先生にまつわ る一、三の事柄

に依拠しつつ、合

なく、原則と証拠

意可能な妥協案を

られた教材を使って運営される山口

さりとて無原則な妥協に走るのでも

法学部教授 茢田 真司

提示して、議論を

は、幸運以外のなにものでもないと する機会を得ることができた学生 先生の講義に、どの科目であれ出席 った。 は見事であり、傍観者としてそれを 観察するのはとても楽しいことであ まとめていく様子

思い出の中に浸ることにしたい。 か」という問いに対するより正確な い。私もこれ以上語ることをやめて、 答は、それぞれの記憶の中にしかな たがって、「山口聡とは誰であったの 山口先生は多面的な人であり、し

速射砲のように打ち出されてくる言 て、聞いている人々を驚嘆させた 山口先生は、饒舌な人であった。 一方、先生は国学院大学日本文化 関西弁の語り口とも相まっ ざせたりし

り、爆笑させたり、震撼

して苦労をされ、また神社本庁講師 **績を残された。学内では学生部長と** ある神道の国際化のために多大の業 である。 先生はそれよりも1年長 たのは昭和56年2月26日、享年89歳 ておられる。そのご尊父が逝去され く、月は1ヶ月後の3月、ご命日は ご尊父であったと先生ご自身も書い が、その生きた手本になったのは、 教化の第一人者としても知られる

そして所長として日本文化の基底に

研究所の開設にご尽力され、主事、

きさらぎの望月の頃」との西行の歌 はくは、花の下にて春死なん、その 儀の日のあいさつで、先生が「ねが 不思議にも同日である。 思い出されるのは、ご尊父様の葬

平井直房 先生 『思い出の記』より

神・貴船神社の神職家で誕生され、

先生は神奈川県の真鶴漁港の守護

神職になるため国学院へ入学、真鶴

から片道3時間もかけて通学され

を掲げながら、「父 たことである。ち ていた」と結ばれ で死にたいと願っ は日頃桜の花の下

お別れした後、親子のもつ強い絆を 逝去された。しかも葬儀の式場は世 治6年2月16日にこの世を去った。 なみに西行も、その願いどおり、文 感じながら、桜並木の道を桜新町駅 田谷の桜新町であった。私は先生と そして先生も同じ桜の花咲く頃にご

◎佐藤謙三(1910~

ゴーヤチャンプルー(左下) 小鉢として無料提供された

展示された佐藤元学長の写真と日記

山口元理事・元事務局長逝去

学部卒業。28年国学院大学

事務局に勤務。45年入学試

の山口計太 学元理事・ 元事務局長 国学院大 に、葬儀・告別式は翌14日 に、神奈川県横浜市緑区の 横浜市北部斎場で執り行わ

> 部長、平成元年総務部長 験事務課長、59年事務局付

生の「思い出の記」によれば、その

は実に穏やかであった。しかし、

ご生涯は必ずしも穏やかなものでな

り行われた。柩のなかの先生の御顔 れた。享年9歳。31日に告別式が執

教授文学博士平井直房先生が逝去さ

今年の3月26日、国学院大学名誉

3年事務局長、同年法人理

郎氏が、9月8日に逝去し れ。昭和27年国学院大学文 れる 山口氏は昭和5年生ま 事。5年法人参事、8年定

た。82歳。通夜は9月13日 クターとして、貴重な資料を残して も知られるほか、考古遺物の大コレ いる。「北海道」の名付け親として 以後全国遊歴と著述の日々を送って 査。同地に関連する多くの著書を残 て開拓使判官になるが1年で辞し、 した。その後、明治政府の命を受け

ら主要な物を選び初公開する。古墳 いる。 重要な資料となるものも含まれてい 時代の翡翠の勾玉や古鈴など学問上 今回の展示は、同コレクションか

w seikado or

生のご指導をいただいた方々が多

道と神道教化』の著書があり、神道

へと歩いていた。

日 (火)。 開館時間は、午前10時~ で)。入館料は一般800円、大高 00・0007)。会期は10月5日 堂文庫美術館まで(203・37 午後4時30分(入館は午後4時ま 館日は毎月曜日(10月14日・11月4 学生以下無料。http://ww 生500円(20名以上団体割引)中 日は開館)、10月15日 (火)、11月5 (土) から12月8日 (日) まで。休 同展に関する問い合わせは、

> 辛苦の日々を過ごされた。 され、戦地で艱難

寒の満州へと出征

陣の命を受け、極 は悪化し、学徒出 た。しかし、戦局 神 道 の 围 際化に尽

の第一線で活躍する人々の中には先 校の教壇に立たれた。現在、神社界 昭和30年から38年の長きにわたり母 い時代の宗教研究室の助手となり、 年に国史学科をご卒業、戦後の厳し 戦争が終わり、復学され、昭和22 も枚挙にいとまがない。 神道資料館館長・神道

とを私は知っている。先生には『神 究」で文学博士号を授与された時、 長などと、さまざまな分野での活躍 最初にご尊父の墓前に報告されたこ 先生が「出雲国造火継ぎ神事の研 宗教学会会

本学 元教授

三橋 健

|村長) に4月に完成した

長野県・木島平村にオープン

ちで作り上げ

(ほしい) と

参列者に語り

から行政の力

との確認の場

農村の暮らしを紹介した展示コーナー

と地元の方た

で日本語教育

台湾にある本学の協定校・南台科技大学で日本語学 対象に日本語教育を行う「南台科技大学日本語教育実習 ディツアー」が、8月18日から30日まで実施された。 日本語プログラムの準備、実施を通し、 本語教育に関する知識や実力を高めるため、毎年実施されて 今年は、久野マリ子文学部教授が引率し、 学院生合わせて11人が参加した。

期間中、学生たちは「日本語・日本事情」の授業を担当。 3クラス約90人の受講生に「使える日本語」を伝えた。



た。奨学生証書授与式は、

度採用者に9人が決定し

教職支援奨学金制度の本年

平成19年度に創設された

20万円を限度とし、採用人

人間開発学部

数は若干名。奨学生は、家

計・学業についての応募書

教職支援奨学生に9人

ンパスでそれぞれ行われ 渋谷・たまプラーザ両キャ

より選考される。

本年度の奨学生は、次の

に人間開発学部の教員と学 が主催するサマーイベント 類による書類選考と面接に

7月15日、FMヨコハマ

生が出演し、「親子読み聞 かせ体験会」を行った。

Mヨコハマ主催イベントに出演

っている「絵本キャラバン」 の学生が出演した。

絵本の読み聞かせ活動を行 教授、神長美津子同教授と、

る。対象学年は2年生以 上。奨学金給付額は、年間 励することを目的としてい 堅固なる意志を持つ者を奨 れたもので、教職をめざす **史2)の篤志により設立さ** した院友(昭28卒・61期旧 立中学校の校長などを歴任 この奨学金は、東京都公

第616号

里さん(初教3)、宇都宮 光希君(初教3)、佐藤衣 3)、山下真紗代さん (史 裕君 (日文2)。 3)、門倉豪君(経ネ3)、 上田篤君 (神文3)、平野

3)、伊藤理沙さん (外文

4)、岩瀬妃織さん(日文

CHOOL(スクスクスク

ル)」を放送している。毎

の質問に答え、最後は全員

その後、教員が参加者から

本の読み聞かせを行った。

でスタジオ見学を行いイベ

ントは終了した。

同番組はFMヨコハマ

提供する番組内ミニコーナ - SUKU SUKU S

同ラジオ局では、本学が

れた11組31人のリスナーが

る応募の中から抽選で選ば

当日は、100組を超え

参加、最初に学生による絵

鐘ヶ江綾さん(健体

む津田理沙さん(初教・2) "せんたくかあちゃん]を読



新富康央人間開発学部長・ 回は、番組に出演している

ドバイスを行っている。今 出演し、子育てに関するア 回、人間開発学部の教員が

内で毎週月曜日、午前11時 25分から放送されている。 THE BREEZE

法学部が懸賞論文を募集

国学院大学法学部では懸賞論文の募集を行ってい る。法律学または政治学に関するテーマで、本学法学 部に所属している学生であれば誰でも応募できる。 希望者は、A 4 用紙 (40字×30行) 10枚 (12000字程 度)にまとめ、平成26年1月8日(水)午後5時までに 法学部資料室へ提出すること。入賞者の発表は来年2 月上旬に学内掲示板および大学ホームページで発表 する予定。

なお、最優秀賞(1名)には10万円分、優秀賞 (2名)には5万円分、佳作(3名)には3万円分 の図書カードが副賞として贈呈される。詳しい内容 のお問合せは法学部資料室(渋谷キャンパス若木タ ワー7階)まで。



の思いを感じてほしい」と れている同村への謝意を述 あいさつ。続いて、あいさ つに立った青木教授は、毎 れた貴重な財産から、先人 館は未完の博物館。ふるさ べた上で、「ふるさと資料 年大学院生の実習を受け入 浦山副村長は、「展示さ 史)が、資料館の展示解説 調査専門幹(昭49卒・82期

村長をはじめ、同村関係者 や住民らが、本学からは書 木教授、落合准教授が出席 氏 (昭5卒・8期史、平21 の樋口和雄木島平村文化財 た展示室には、木島平村の 野市立博物館長の中島庄一 に続き、本学卒業生で元中 四季折々の生活が再現され などが展示されている。ま 講演を、同じく本学卒業生 修・17期博後日史)が記念 オープニングセレモニー

午後4時30分まで)。入館 9時~午後5時(入館は、 日)、年末年始。☎026 同館の開館時間は、午前 (祝日の場合は、翌 休館日は、毎週月

2 好交流館(大字上木島) が協力してきたふるさと資

ニーには、浦山宏一同村副

われたオープニングセレモ

7月7日午後1時から行

作などで協力してきた。

長野県木島平村(芳川修 | 内に、本学大学院文学研究 科史学専攻博物館学コース かれた。 | 料館が7月7日にオープン し、記念のセレモニーが開 子同准教授の指導の下、大 分析や展示解説パネルの制 現地に入り、資料の分類・ 学院博物館学コースの大学 院生が、平成22年から毎年 青木豊文学部教授、落合知 このふるさと資料館は、

開館。早速参 列者が資料館 さと資料館が かけた。 特別収蔵庫に した。館内の の展示を見学 行われ、ふる ープカットが その後、テ

根塚遺跡から出土した鉄剣 に指定されている同村内の を行った。 博物館学研究室では、



問。今後も継続して実習を 習の一環として、同村を訪 行い、連携を深めて行く予 館開館後の7月下旬にも実

平成26年度 大学院春季入学試験日程								
EΠ2ρ±3	 ===∓□	入試制度	専攻	募集人員			3-5466-0142)詳 合格発表日	細については募集要項を参照 手続期間
10万分です	沫性	八武削反	神道学·宗教学	7名	限音文刊别间	武學口	口恰先衣口	一一一一一一一一一
		一般	文学	9名	平成26年 1月17日金~ 1月25日出)	2月12日(水)	2月14日金	2月24日(月)~ 3月 3日(月)
			史学	9名				
	前期	留学生	神道学·宗教学					
			文学	若干名				
			史学	若干名				
		社会人	神道学·宗教学	若干名		2月18日(火)	2月20日休	
			文学	若干名				
文学			史学	若干名				
		一般	神道学·宗教学	3名				
	後期		文学	8名				
			史学	8名				
		留学生	神道学·宗教学 文学	若干名 若干名				
				若干名				
		社会人	神道学·宗教学					
			文学	若干名				
			史学	若干名				
		一般				3月1日(土)	3月3日(月)	3月3日(月)~ 3月7日(金)
		学内		5名				
	前期	論文選考						
		学内		若干名				
> >>4		成績選考	_ / _ / _ _		平成26年 1月27日(月)~			
法学		留学生 社会人	法律学	若干名 若干名				
		<u>社 云 人</u> 一般		5名	2月 7日金			
	後期	法科大学院						
		修了者		若干名				
		留学生		若干名				
	前期	一般		5名	平成26年 1月17日〜 1月24日〜	2月8日出	2月10日(月)	2月24日(月)~ 3月 3日(月)
		留学生		若干名				
		社会人		若干名				
経済学		学内推薦	経済学	若干名				
	後期	一般		5名				
		留学生		若干名				
		社会人		若干名				

平成26年度 法科大学院Ⅱ期(適性試験第4部活用型)入学試験日程

			法科大	:学院事務課(Tel:0	3-5466-0492) 詩	細については募集要項を参照
研究科	入試制度	募集人員	願書受付期間	試験日	合格発表日	手続期間
法務 研究科	【一般入試】 標準(未修者)・ 短縮(既修者)コース	7名	平成25年 10月11日億~ 10月18日億 午後4時必着	10月26日(土) ※面接予備日 10月25日(金)	10月31日休)	第1次:11月 5日 (20 ~ 11月12日 (20 ~ 12月 2日 月) ~ 12月 10日 (20 ~ 12月10日 (20 ~ 12月 10日 (20 ~ 12月 12日 (20 ~ 12月 10日 (20 ~ 121 10日 (20 ~ 12

海外から 交換留学生12人

マレーシア・プトラマレイ

国費留学生としてポーランドから1人が、 月に来校した。また、韓国から1人が学部 交換留学生として来校した。

国学院大学の交換留学プログラム「K-STE

を利用し、5カ国から10人の交換留学生が、

-STEPは、日本文化や日本語を修得する 日本文化を世界に発信することの できる海外の人材育成を狙いとしている。留学期 間は最長で、平成25年9月から平成26年8月まで の1年間。今後は、本学学生との交流イベントも 予定していて、担当する国際交流課では、 ベントへの日本人学生の参加も募集してい イベントに関する問い合わせは国際交流課ま (**2**03 · 5778 · 7061)

豆湾・世新大学 (ラジオ テレビ・映画学科)

(5)



シア大学(経済経営学部)



リ・カ・ロ



イシア大学(食品科学技









ポーランド・ニコラウス コペルニクス大学(言語 学部・日本語専攻)

◎鈴木史郎(昭32卒・65期

辺岩うふう刊・1575

家物語屋代本とその周







イム・ヒョンサン



(アジア・アジア系アメ

情



の二渡神社禰宜の佐藤雅典

南三陸町

の土地に住んでいた人の生 撤去では、土の中から、そ

活用品が掘り出され、

の体験を語ったほか、3日

文〉著『鈴木史郎句集

鋭文社刊・15

◎岡崎直也(平元卒・97期

の避難場所にもなった地域 も訪問。震災発生当初、市民 の沿岸部や松島市、名取市



は、8月30日から9月2日 により設立、加盟校の本学

教職員5人が参加。昨年と

今回は、学生32人と引率

た。講話では、まず震災で

の上山八幡宮を参拝。禰官

目には昨年に続き、同町内

の工藤真弓氏が講話を行っ

業生らによる講話などを行 察やがれきの撤去作業、卒

った。また今年は、石巻市内

と」を語った。

昨年に続き実施した南三

居にした「ぼくのふるさ

こってからの家族、とりわ 捧げた。その後、震災が起 犠牲となった方々に黙祷を

け息子の体験と言葉を紙ぎ

後の被災地復興を支援する

昨年4月、東日本大震災

にかけて、2回目となる夏 期ボランティア活動を実施

東北再生私大ネット36」が



リョウ・ハクテイ

の夏

私大ネット36

◎安孫子哲郎(昭49卒・82

育出版刊・2100円

◎干明守(昭56卒・89期文、

昭58**6·**91期博前日文、昭

を救う鍵は教師の生徒指

9力向上とチームカ1数

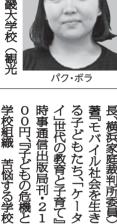
街へ(下)]美しい日本文

化研究所刊•3150円

者たち~教え子たちの

院大学栃木短期大学教

そして今」~』文芸社刊



◎市川民話の会編集根岸英 訂新版 市川のむかし 之 (平4卒·10期文、 出 市川民話の会刊・1 版

○高塩博 (昭47卒・8)

◎近藤昭一(昭49卒·82期中 長、横浜家庭裁判所委員) 2、横浜市立南高等学校 学会叢書2』成文堂刊 度論考―社会復帰をめざ す自由刑―国学院大学法

著「近世刑罰制

◎楠原彰(本学名誉教授) ほうへ』太郎次郎社エデ きる大学での「学びほ 著『学ぶ、向きあう、生 イタス刊・2100円 精神の地動説の

大学教授)編『源氏物語

国学院大学栃木短期 昭4修・77期博後日

◎石崎正明(昭30卒・73期 文)著『やまと言葉から宇 ○松坂弘(昭33卒・66期文 若菜上』 おうふう刊・4

◎鈴木英治 炸短歌会代表) 蓍(安息は 午後に『砂子屋書房刊・3

政経)著『聖書における パン刊・2415円 アウトリーチ (昭40卒・73期

ぜそうしてしまうのか』

日本人はな

青春出版社刊・810円

◎新谷尚紀(本学教授)著 ◎新國稔秧(昭40卒・73期

ソクラテスの言葉』せせ 哲)著「これならわかる

◎干家和比古(昭48卒・81 根県立古代出雲歴史博物 雄(昭55卒・33期史、島 雲大社権宮司)・松本岩 館専門学芸員)『出雲大 昭50修・83期修日 出

運 済学部◆教授▽土田壽一一一

人

事

+1995 1号適用による譴責 (以上6月12日付)

格風舎刊・ 日本の神!

-山川静夫の芝居話

◎林田孝和(昭39卒・72期

1575円

自分を作る』おうふう刊

『レポート論文のSta

Line—書ける

本学兼任講師)共編 平6修22期博後日

山川静夫(昭31卒・64期文、エッセイスト)著

まず口上に「歌舞伎は恋だ。恋は理 屈でない。」とある。山川静夫の芝居 話は、全編これ恋する歌舞伎への連綿 たるラブレターである。昭和28年から 見始めた歌舞伎座の歌舞伎は山川さん を深みにハメ、以来今日まで冷めるこ とのない恋心を育んできた。演劇雑誌 『演劇界』の連載を中心に、他の新聞 コラムやエッセイを集積して一冊にま



とめられている。どのページを開いても迸る山川さんの歌舞伎へ の愛情が感じられ、ことに筆者などにはほとんどの登場人物が旧 知の方々であるだけに思いも一入である。歌舞伎に理屈は似合わ 五感で感じるままがよい、とおっしゃりながら、 たて糸・よこ糸(第二章)や歌舞伎ことばあれこれ(第三章)で 山川歌舞伎教室に学び、忘られぬ歌舞伎役者(第四章)ではつい 先日亡くなった18代目中村勘三郎や12代目市川團十郎の最後の日 々に触れられていて胸を熱くした。沢山の昭和の俳優を失い挫か れそうになる後継世代に「これからの歌舞伎の質が高まっていく ことを祈らずにはいられません」というあとがきの一文は心して 聞く山川さんのメッセージだ。

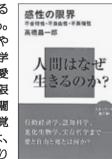
山川さんのご著書を拝読して、これまでも常に心地よい読後感 と清涼感を感じさせられてきた。それは歌舞伎や歌舞伎役者、そ してそれに関わるあらゆる事柄を肯定的に受け取られる愛情の濃 密さと眼差しによるものだろう。全神経と五感で、良いところだ けを感じ、それだけを受け取ろうという姿勢が心地よい。あたた かく豊かな日本の心を伝えて、またここに貴重な一冊を手にする (淡交社刊・1600円+税) ことの幸せに浸っている。

国立劇場顧問 織田 紘二(昭和42卒・75期)

限界があるから魅せられる! -不合理性・不自由性・不条理性

-郎(本学教授) 高橋昌-

本書は、日本を代表する論理学・哲学者の一人である 高橋昌一郎氏による「限界シリーズ」の第3弾である。 『理性の限界』と『知性の限界』同様、本作でも、大学生や 会社員といった一般人から、行動経済学者や進化生物学 者といった専門家までさまざまな人物が-と自由、そして死というトピックスを通して「感性」の限 ついてディスカッションを繰り広げる。その自由閣 達な雰囲気に、つい自分も参加しているような錯覚を覚 を挙げて発言したくなってしまう。そして読後は 魅力的に切り取られた数々の理論についてもっと知り たくなり、巻末に挙げられた多くの参考文献を手に取っ



てしまう。本書はそのような自発的思考と行動を促す良書である。

「理性」や「知性」に比べると、「感性」はより本能的なものであり、 れゆえ私たちのアイデンティティの根幹をなすものと思われるかもしれな い。けれども本書は、その「感性」が、私たちの合理的思考を阻害したり、 さまざまな条件にいとも容易く翻弄されたりするだけでなく、それ自体が幻 想にすぎない可能性すらあることを鮮やかに提示する。つまり私たちのアイ デンティティは大きく揺らぐこととなるわけだが、読後感は決して憂鬱なも のではない。人生は不合理性・不自由性・不条理性のような感性の限界に充 ち溢れているにも拘らず、私たち人間は、しぶとく生き延びてきた。それ自 体が限界への挑戦であり、人間が持つ強さとしなやかさの発露であったこと を本書は教えてくれる。

蛇足ではあるが、今回本書を読んで、筆者が専門とする文学・演劇の分野 において、愛と自由、そして死が、遥か昔から繰り返し扱われてきたテーマ である理由が分かったような気がした。限界があるからこそ、芸術家たちは 愛と自由、そして生に魅せられてきたのだし、これからもそれらを希求し続 けるのではないだろうか。 (講談社現代新書・760円+税)

石川県立大学専任講師 山岸 倫子

刊 紹

新

開会セレモニ

大学を知る講座

図書館展示解説

展示解説

懇親会

キッズルーム

たまプラ

落語鑑賞会

懇親会

展示解説

昨年度の様子

谷

東儀秀樹客員教授特別講義

BestPartner凱旋ライ サロンコンサート

博物館ミュージアムト-

万葉エコBeeプロジェク

OB·OG·在学生イベント

開会セレモニー&基調講演

こくぴょんと記念撮影

万葉エコBeeプロジェクト

渋

かるでしょう。人間開発学部卒業生 時開催とし、 たまプラーザキャンパ 学部・法学部・神道文化学部の院友 められています」と、人間開発学部 のパイオニアとして誇りを持って業 する予定だ。「社会に出て半年、職 人では、今年3月にはじめて卒業生 ペミングデーはそのような意味も込 も多いはず。懇親会では恩師や友人 会話することで解決の糸口も見つ にまだ不安や悩みを抱えている院友 ②象に落語の鑑賞会と懇親会を開催 送り出した人間開発学部の院友を 渋谷キャンパスでは文学部・経済 環境にも慣れた頃だと思うが、ま

長の新富康央教授は語る。

ムカ ミングデ

楽舞などを披露する。 究室と関係が深い岩手県一関市も協 て参加できる環境を整備する予定 キッズルームや授乳室などを設置、 kokugakuin.hbd)で公開している。 ページ (https://www.facebook.com/ 外の院友も参加可能。各イベント を対象にさまざまなイベントを実施 ジまたは専用のFacebook に関する詳細は、 刀して、祝いの場で行う餅つきや神 小さいお子さんを持つ院友が安心し 7、11期、12期となるが、それ以2)は、卒業期の末尾が7・8・9 ームカミングデー」をテーマに、 期、11期となるが、それ以 招待状を発送する期(招待 大学ホームペー

ームカミングデー専用の Facebookページを開設しました。 各イベントの詳細について公開し

ています。また、変更とな

00首と言われている。

ンパスで開催され、朝から

月4日にたまプラーザキャ

21回目となる今年は、

あいにくの空模様であった

263人が参加した。

にして、万葉集を学ぶこと そのような花々を切り口 登場する。その数は約15

Facebookページ

や準備状況なども順次公開していく 予定ですので、ぜひご覧ください。 https://www.facebook.com/

kokugakuin.hcd 携帯電話の方は

QRコードからアクセス→

の有志が集まり、万葉の花 を目的として、本学教職員

辰巳正明文学部教授から開

会に先立ち、同会会長の

の会を発足。平成5年から 毎年万葉集にちなんだ講演

の部として講演会が行われ 会のあいさつがあり、午前

第 21 回

万葉の花の会

263_k

は、同会副会長の関秀二教

皇と伊勢行幸」が行われ

神道文化学部

観月祭斎行を決定



受付開始 10:30~

昨年度の模様

0789) まで

ムカミングデーに関する問い合

校友課(☎03・5466

13:45~14:00 14:00~15:30

15:45~16:45 17:10~18:00

11:30~13:00 11:15~/12:30 12:00~12:30

11:30~/13:00 11:00~/12:30~

11:00~/13:30~

11:30~/12:30 15:30~/16:30

11:00~17:00

13:30~14:00

14:15~15:15

15:30~17:00

15:30~17:00

15:30~17:00

14:00~/16:00~

受付開始 13:00~

神道文化学部主催による観月祭を10月19日(土)渋谷キャンパス神 殿前で午後4時から斎行する。

この祭は、今年度で4回目。雅楽の演奏や神楽舞の奉納など本学神 道文化学部学生が主体となって行われる。事前申込不要。

今回は観月祭の前に石井研士神道文化学部長・教授と英字 Japan News」編集長との対談も予定されてい 例年にも増して賑わいそうだ。詳しい内容に関する問い合わせは 神道文化学部(☎03・5466・0209)または、広報課(☎0 ・0130)まで。

開会の辞を述べる辰巳会長

れた。今年の干支 タノオロチ伝説を いて古事記のヤマ である「蛇」につ

部哲学科在学中に、同人

「黙示」「立待」などに

函館市生まれ。本学文学

このほど公開されるドキ

、学試験募集始まる

佐藤は、

昭和24年北海道

蛇に例え伝えたの を起こす河川を大 解説。 頻繁に氾濫)た。 第2部は本

れている。 された。たまプラーザキャ ばれる遊歩道として整備さ 加者に「万葉弁当」が販売 昼食は事前予約をした参

> 動を続け、昭和4年「草の 執筆。卒業後も、

、執筆活

志」(監督・稲塚秀孝、

ことの重さ~作家 佐藤泰 ュメンタリー映画

響き」で文芸誌デビュー。

もうひとつの朝」で「作

佐藤泰志の執筆活動に費や

再現ドラマを交えて、 タキオンジャパン)

した人生をたどる。出演

佐藤泰志、

、加藤登紀学

家賞」(55年)を受賞した。

きみの鳥はうたえる」で

会や万葉の植物の鑑賞会を 第1部は、「幸せを招く 蛇」と題し加藤季 夫本学副学長・人 よる講演会が行わ 間開発学部教授?

も多いことが紹介され、 る歌も多く詠まれている と鰻児の物語」が行われ を美しい女性にたとえた歌 が、中にははかなく散る花 午

> 49卒・82期哲)のドキュメ った小説家・佐藤泰志(昭

の有志による発案、

ある「海炭市叙景」

平成22年には、代表作で

嘉監督・加瀬亮主演で映画

大きな注目を浴び

4歳の若さで自ら命を絶

の世を去った。

AO入試は10月

を。(☎03・5466・0141)

から都内の映画館などで公

加藤教授による講演

て味わうなど思い思いに初 に実ったナツメの実を採っ

つ、持統天皇と伊勢神宮の

途中、たわわ

伊勢神宮について詠まれて

いる万葉集の歌を紹介しつ

後文)による講演 兼任講師(平2修・89期博 ド 卒業生・佐藤泰志 午後の部は城﨑陽子本学 キュメンタリ

「持統天

のプログラムは終了し

また、社会人特別選考や神道学専攻科の募集を始め

ますので、受験を検討されている方は入学課まで連絡

から閉会の辞があり、

講演会終了後、関副会長

ン事業課まで(203・5

部長・石井研士教授が ws」編集長と神道文化学

The Japan

N e

本文化の世界への発信」

構事務課まで(☎○

台わせ先はエクステンショ 作家の岩下尚史氏

こ」と題した講演会を開催 ➡テレビ番組のコメンテ 94期文)が「月並につい 午後2時30分▼渋谷キャ タとしても活躍している バス百周年記念館記念講 内容に関する問い (土) 午後1時 (昭61年

n 化学部×The Japa 神道文化学部主催「神道文 ~午後3時▼渋谷キャンパ ▼10月19日 (土) 午後2時 3 ス学術メディアセンター常 Newsトークセッシ

> 博 と古風 土記の編纂 (26日 (土) 午後3時 術講演会『和銅官命 \Diamond \Diamond

する問い合わせは研究開発 ~午後4時30分▼渋谷キャ -常磐松ホール▼参加費無 | 前申込制。内容に関 、学術メディアセンタ ど、親子で楽しめる各種イ きる体操教室や絵本の読み 料。 聞かせ会、科学実験教室な ェスティバル ベントを開催。▼参加費無 キャンパス▼親子で参加で 45.904.7700 プラーザ事務課まで(20 に関する問い合わせはたま ~午後4時▼たまプラーザ 10月27日 (日) 午前10時 部事前申込制。内容

平成2年に41歳の若さでこ

com/kaku-omosa/index.html

後「海炭市叙景」を「雑誌 るが、いずれも落選。その

海道内の映画館など全国17

i n e m a

公開は、

新宿K′s (新宿区) や北

今後のイベントスケジュ

テー

 \Diamond

 \Diamond

に対談。▼事前申込 般の方の参加自

人間開発学部主催『共育フ

5466 • 0925 \Diamond

1

平成26年度推薦•特選入学試験一覧(学部)

入学課では、平成26年度公募制自己推薦(AO型)入学

試験(経済学部はK-ENT2・3のみ)の願書受付を10

月1日(火)から開始する。期間は10月8日(火)まで。

入記	式制度	試験日	出願期間 (消印有効)	合格発表日	入学手続期間 (消印有効)
公募制自己推薦 (AO型)	経済学部 (K-ENT2・3)	11/10(日)	10/1 (火)~ 10/8 (火)	【1次】 10/24(木)	11/25(月)~ 11/30(土)
	文・神道文化・ 法・人間開発学部			【最終】 11/21(木)	
社会人特別選考(第	第Ⅰ期)		10/9(水)~	11/21(木)	12/5(木)~
神道学専攻科		11/24(日)	10/16(水)	12/3(火)	12/12(木)

マスコミ院友会が

総会を開催

マスコミ業界で活躍中の国学院大学卒業生

が組織する、「マスコミ院友会」の平成25年度

総会と、同会会員とマスコミ界志望の本学学

午後6時30分からの総会では、会務報告

収支決算報告などが行われ、総会終了後の午

いる学生約80人、大学関係者約10人が出席した。 はじめに岩崎勉同会副会長(昭35卒・68期文)

ための情報を得てほしいとのエールが送られた。

ミ各界で活躍している院友約20人と、マスコミ界へ の就職志望の学生やマスコミ関係に就職が内定して

らあいさつがあり、その中でマスコミ志望の学生た

ちに、激動の日本社会の状況を捉えるため、新聞の 購読を強く薦め、新聞の情報からマスコミを目指す

続いて現在マスコミ志望学生のための勉強会「院

その後、来賓紹介に引き続き、坂本一登就職部長 ・法学部教授と、国学院大学院友会の宇井克彦常務 理事が祝辞を述べ、原田佳昌キャリアサポート課長 の発声で乾杯、懇談に移った。学生たちはマスコミ

で活躍している院友や、今年内定を得たばかりの在

成績優秀者表彰に移り、最優秀賞・優秀賞の3人が

コミ塾」の会員である第16期を対象とした、

後7時10分から交流会が開催された。

生との交流を図る第18回マスコミジェネレ ション交流会が、7月17日夕方、渋谷キャン パス若木タワー有栖川宮記念ホールで開催さ

れた。

第46回院友都立高等学校

同会特別会員である橋本喜

の先生は大きくうなずき、 いこうとする姿勢に、会場

スする姿が見受けられた。

の前で次々起こる問題を、

していることを語った。目 **使との接し方など日頃苦慮**

いる教諭からは、

生として中学校で活躍して

課題として捉え、解決して

や

校校長(昭56卒・89期文) えて開催された。 を代表して高橋大助教職課 による会長あいさつ、大学 小村健二都立浅草高等学

門委員長・文学部教授と、 程・教員免許状更新講習専 成24年度活動・会計・監査 来資あいさつ、その後、 長 (昭46卒・79期文2) が 和洋九段中学高等学校校

報告、平成25年度役員選出 出され、 ・活動計画案・予算案が提 総会後、古川泰代町田高 それぞれ承認され

等学校(定時制)主任教論

「モノを通して考えさせる (平12卒・188期史) による

る工夫として、モノ(資 授業~朝鮮出兵を例として 授業に興味関心をもたせ と題した講演が行われ 海道道南支部の集いが開

(函館市)で若木育成会北 7月27日、五島軒本店

一の中、まず支部総会が開

催され議事と

で、アットホームな雰囲気

催された。参加者は8人

例を披露。成功例・失敗例 が発表された。 いかという試行錯誤の軌跡 業にするにはどうしたらよ 果がありかつ記憶に残る授 者を理解すること、学習効 な視点をもたせること、他 を踏まえた発表から、多様

ヶ月の現状を報告。前任校 では、5人の新人がこの3 続く新人紹介・実践報告 生

一代を超えた交流も

ジェネレ

ーション交流

岩崎副会長より表彰される受賞者

韓国の絵本や亀甲船の模型などを活用した授業を

或

料)の活用を実践してきた

参加者を前に講演する成田信子人間開発学部副学部長 承認、今年度

歴と新役員の

認、役員の改 び予算案の承 事業計画およ

あいさつがな

懇談会」で く終了した。 「大学との まず成田

のように正しい言葉づかい 社会に出るにあたって、ど

された。大学生に求められ を身につければよいのか不

学生の先輩たちとの情報交換を行った。

懇談の中ほどで、マスコミ院友による自己紹介を
兼ねたスピーチや、マスコミ志望学生たちの決意表
明が行われるなど、院友・学生双方にとって有意義
な会となったようだ。 生をサポートしていること からの説明がなされた。教 サポート、学生生活の3課 々が大学と一緒になって学 た。次いで教務、キャリア の感謝の言葉が述べられ 課は前年度の進級・卒業 性などをデータに基づい 単位修得と出席率の関

く、時間の許す限り面談を

行った。

に関する説明と、保護者へ を含めた今年度の就職状況 説明した。キャリアサポ 課からはUターン就職

生支援に役立てたい。

(教務課課長補佐・飯塚陽

不安を受け止め、今後の学

のアドバイスがあった。ま

表彰された。

とを目指している3年生8 言葉とともに2年後は発表 人が聴講し、最後にお礼の

側に立つことを誓った。 **所をカフェラウンジー若木** 午後5時過ぎからは、 懇親会が行

その後の懇親会でアドバイ 健康体育学科1期 ているとの報告もあった。 報告を、将来教師になるこ バックして、生徒指導をし 今回は講演会と新人実践

とを担任の先生へフィード は人間関係がよくみえるた 授業での気になったこ が丘」に移し、

若木育成会支部の集いルポ

北海道道南支部 7月27日五島軒本店

幕らす父母の不

学部副学部長・教授による 小講演「大学生に求められ る国語力」が行われた。最 感がある。また学生自身も りがあり、正しい日本語が 学生と社会との間での隔た する。その背景に核家族化 慣用句や、漢字の読み書き 近、テレビなどで日本語の 彼らに伝わっていない危機 などを問う番組をよく目に 語す機会が少ない現代の大 親や教員以外の大人と すい講義であった。保護者 時に笑いながら大変興味深 身近な例を用いたわかりや る語彙力・読解力について 見る良い機会となったよう い様子で聴いていて、大学 における授業の一端を垣間

> 生活課からは課外活動の状 用も呼びかけられた。学生

講座の紹介、

個人面談の活

況や奨学金制度、保健室和

支決算報告の

して事業・収

創立130周年記念行事、 学生の活動、入試の現状に 学の現状」として昨年度の ついて説明があった。また 配明に先立ち、 保護者の方 その後、同教授から「大

明することで、学生と離れ 点を少しでも解消するべ て暮らしている父母の不安 た。学生の科目の履修状況 について個人面談を行っ 務課員とキャリアサポ 出席状況や就活状況を説 3課からの説明の後、

持ちでいっぱいである。面 れた父母にはありがたい気 た。その中、本会に参加さ くあいにくの天気であっ 談などでいただいた意見、 当日は、時折雨がぱらつ

教員免許更新講習会を開催 延べ245人が受講

教員に必要な資質能力が保持 されるよう、平成21年度から導 入された「教員免許更新制度」。 更新には、30時間以上の免許状 更新講習の受講・修了が義務付

けられている。 授による講習会谷口雅博文学部准教

赞課

2045 · 904 · 7705)

本学では7月31日から8月3 日まで、渋谷キャンパスで中学 高等学校の教員免許更新講習会 たまプラーザキャンパスで 小学校の教員免許更新講習会が され、必修領域の講習会は 131人が、選択領域の講習会は 114人が受講した。

選択領域の講習会のひとつで 「日本史研究の最前線」で 本学所蔵の貴重資料も展示 解説され、本学ならではの更新 講習会となった。

ラブ・サークル・院友から

かりかがいのからなり

詳細は、同部ホームページで確認を。 ~立川市街地~国営昭和記念公園の20キロで本選出場を争う。 /19(土)午前9時35分スタート。陸上自衞隊立川駐屯地

第9回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予選会

務局からのお知らせ

(学生生活課:☎03・5466・0146/たまプラーザ事生は保護者と相談のうえ、下記窓口までご相談ください。 には 雨、埼玉県内での突風(9月発生)などにより被害に遭われた皆様 山口県、島根県(7月発生)、岩手県、秋田県(8月発生)での大大雨・突風などの被害に遭われた学生・保護者の皆様へ 一後の家計が急変し学業生活に支障をきたすおそれのある学 心よりお見舞いを申し上げます。 これらの災害で被害に遭

〈国学院大学英語検定試験関連イベント〉英語ガイド体験バスツアー 英語がイド体験がスツアー

る。申し込み締め切りは、10/30(水)午後5時。申し込みと語ガイドを聞きながら、観光バスに乗って東京都内の名所を巡 問い合わせは、文学部資料室(若木タワー11階)へ。参加者が 場料金、旅行傷害保険代等を含む)。プロの通訳案内士による英 散予定。参加費2000円(昼食代、東京タワー大展望台等入 12 /1(日)午前9時集合、午後4時30分渋谷キャンパス解

12/12 (木) 午前11時4分観世能楽堂集合、午後4時3分 現英語で日本文化体験(能楽鑑賞) 英語で日本文化体験(能楽鑑賞) わせは、文学部資料室(若木タワー11階)へ。参加者が定員にし込み締め切りは、11/13(水)午後5時。申し込みと問い合 地解散予定。参加費1000円。英語解説つきの能楽鑑賞体 英語での講義の後、「小袖曽我」と「鉄輪」を鑑賞する。申

を運んでいただきたいと伝

とがあれば学生生活課に足

教務・就職以外で困ったこ 用について説明がなされ、

達した場合は、募集を終了する。

キャリアサポート

エントリーシート・履歴書対策ガイダンス

10/9(水)4限・5限(2コマ連続)に開催。書類選考の基礎知識を学ぶ。

業界研究ガイダンス

10/16(水)4限に開催。企業情報を集める上で注目する点

10/16(水)4限に開催。企業情報を集める上で注目する点

スは10/23(水)5限・10/26(土)4限に開催。自分らしいAコースは10/23(水)3限と10/26(土)3限に、BコーAコースは10/36(土)3限に、Bコーについて解説。

以上、渋谷キャンパスで実施。申し込み方法はKISMAPPR方法を講義とワーク形式で発見。 Yキャリアサポートシステムで確認を。

その他のイベント等は、本学ホームページでご確認ください。

どの測定を行った。

筋肉の力を機械を使って計測

坂本監督選手とともに入場する

人間開発学部が協力

長:一正孝教授)では、神奈川県相

じた青少年の育成活動を行っている。

には同法人が経営するサッカークラブ「ラ

原FC」に所属する中学生15人がたまプラ

人間開学部の教員が赴き、ビデオ分析に

それを基に同クラブの指導者

-について検討する予定だ

ンパスを訪れ、心理テストと体力検査、筋肉量な

のNPO法人チームさがみはらプラスと協力し、

同法人とは平成23年から連携を開始し、 本学相模原グラウンドで実施している同ク

今後は今回の測定結果を地域ヘルスプロモ

ドバイスなども行っている。

人間開発学部地域ヘルスプロモ

-相模原FC測定

(8)神宮球場で開幕した。今年 いを繰り広げながら3位に **皮春季リーグ戦では優勝争** 4部リーグ戦が9月7日に 於わった硬式野球部は、 東都大学野球連盟の秋季

続となる杉浦稔大君(日文

で、2点差を守り完封勝利

し、決勝点。3―2で勝ち

都大学野球開幕戦の観戦を

り最終戦へ、相手は本学と

同じく今まで全勝している

実施した。 このツアーに参

点1を手にした。

立ち上がりから制球

昨年春季リーグから4期連 のて1部リーグに昇格した 学2部リーグで優勝し、初 2殖大学と対戦した。 群日の第2試合に登場。 開幕投手を務めたのは、 リーグでリーグ戦初勝利を

3奪三振無四死球の好投 ると、柿田君は被安打4・ が先発。2回裏に味方が2 本の適時打で2点を先制す 挙げた柿田竜吾君(法4)

に苦しみ、 5回5失点で降 翌8日の2回戦は、春季 ―8で初戦を落とした。 打線も快音が聞かれず 土倉君は、6回まで相手打 た3回戦は、9日正午に試 先発に起用された土倉将君 投手は、リーグ戦で初めて 線を被安打2・無失点に抑 本学が2点を先制すると、 合が始まった。本学の先発 (健体2)。前日に続き、 対戦成績1勝1敗で迎え

対象とした「強化部会応援 アー」の第1弾となる東 学生部では、本学学生を

学生部企画「強化部会 応援ツアー」を実施

加した学生には、「大学オ ータオルが揺れ動いてい でスクールカラーのマフラ リジナルマフラータオル 停点を挙げると、 スタンド 日程で同じく千葉県白子町 東海大学。まさに優勝をか 及ばず借敗、同リーグ戦3 けた一戦となったが、善戦 **埋覇はならなかった。** また、9月4日・5日の

ソフトテニス部男子

試合を作った。しか

百都学生秋季 ブルス選手権(男子)は優勝 1部で準優勝 ij

のペアが、各大学のエース

1) と石川亮輔君 (法4)

同部の齋藤翔一君(史

と熱戦を繰り広げ、

に続き138ペアの頂点に

東京国体の出場権を獲得した山崎君

た第5戦を日本チー

して、2大会ぶり17回目の

医勝を果たした。

都学生ソフトテニス選手権

で開催された平成25年度首

大会・男子ダブルスにおい

グ開幕

で、千葉県白子町で行われ ス部が準優勝を果たした。 戦・男子1部でソフトテニ 生ソフトテニス秋季リーグ た平成25年度第90回首都学 月3日・4日の日程

君に交代。柿田君は交代恵

君から前日完封勝利の柿田 で1点を失う。ここで土倉 し、7回に走者を許し敵失

るも、後続を絶ち、 後にスクイズで同点とされ

逆転は

許さなかった。

第2戦 続く第4戦は文教大学と対 進一退の白熱した試合とな 東京経済大学で、試合は 乗る本学、第3戦の相手は ったが見事接戦を制した。 の順天堂大学に快勝し波に 同大学を4対1で破



男子ダブルスで優勝を果 たした齋藤・石川ペア

で横山尭世君(法1)の5人 2)、100キログラム超級 ラム級で糸井滉平君(法

3階級 で3位

手打線に打ち込まれ、0回 したが、立ち上がりから相 石川君は、第1戦で守備 からは、男子の全7階級に 館で行われた。本学柔道部 権大会(男子32回 女子29 回・東京学生柔道連盟主 18人が出場し、 果京学生柔道体重別選手 が9月1日に日本武道 熱戦を繰り

催)に出場する。

卓球部

2回戦で完封勝利の柿田君

と湿りがちの打線は9回

第39回 日米大学野球

げ2失点。第4戦では先発

本学から2人、日本代表に

開幕2戦でともに2得点

る中、果敢に二盗を決め、

れた第39回 日米大学野球 選手権大会(全日本大学野

が硬式野球部から選ばれ

平君(捕手・健体4)の2人

孝本学硬式野球部監督(平 た。この他、コーチに鳥山泰

る(612号既報)。 10卒・10期法)が選ばれてい

杉浦君は、第1戦で3番

安打1打点の結果だった。

こなかった。第4戦では、1 を被ったが、打席は回って 固めとして登場し、マスク

塁手で先発出場。3打数1

国内4ヶ所の球場で開催さ

7月6日から11日まで、

君(投手・日文4)と石川良

る日の丸を背負ってのマウ 2/3で4失点。 悔いの残

ンドとなった。

日も決勝打を放った柴田竜 好機を広げた。ここで、昨

1で2塁から山下君が生費

大学日本代表に、杉浦稔大

が安打で出塁。2死とな

山下幸輝君 (経ネ2)

ってプレッシャーがかか

がそれぞれる位に入った。 グラム級で、井上修平君 田和総君 (法1)、73キロ 級で、地﨑亮祐君(経3) (健体3)、90キログラム

60キログラム級で、満

手として登板し、 2回を投 大会は、 2勝2敗で迎え

全日本男子監督 坂本監督が同行

柔道の国際大会であるグランプリ・ウランバート

柔道 グランプリ・ウランバ

シリーズのひとつで、今年度大会には20カ国145 た。同大会は国際柔道連盟(IJF)のグランプリ ンバートルで開催され、坂本大記本学柔道部監督 ルが7月13日・14日の日程でモンゴル国の首都ウラ (平10卒・16期文)が全日本男子監督として同行し

ソフトテニス部 山崎君 東京国体に出

場

体4)が第8回国民体育大会のソフ ソフトテニス部の山崎仁大君(健 一として出場する。 トテニス(成年男子)

長野県代表

権を獲得した。 位となり、本 北信越ブロック予選で2 た長野県国体予選ダブル スで1位、 山崎君は6 続く東京国体 月に行われ 大会の出場

卓球部の芦原真由さん(経2)が、福井県代表とし

この他、金山克哉氏(平8卒・104期文、平10修・ 106期博前日文)が富山県代表成年女子の監督を、藤 本賢司氏(昭51卒・84期法Ⅱ)が大分県代表少年男子

卓球は、9月29日(日)から10月5日(土)まで郷

て9月28日から東京都で開催される第68回国民体育大

会の卓球(成年女子)に出場する。

土の森総合体育館(府中市)で行われる。

卓球福井代表に芦原さん

(目)・7日 同大会は 10月6日

国 体

の監督を務める。

谷区立総合運動場と同大 ?で開催され

った3人のほか、8キログ

また、同大会で3位に入

の3部昇格

柔道体重別選手権大会(男 日(日)に日本武道館で行わ の選手が、9月28日(土)、29 れる平成25年度全日本学生 れた第8回関東学生 (千葉県習志野市)

(った。2位以上のチ 水泳競技大会に出場 属する4部で総合2 3部昇格となるた

いかけて千葉国際総合 部は、8月3日から

く引き寄せた。

て1部7位の日本体育大と たことが、初の昇格を大き 樹君〔経ネ1〕・菅原君・ 文2]・福田優哉君 (健体 の入れ替え戦に挑むことに 福田君)などで1位に入っ 4))、400メートルフリ 体1]・真弓明久君 (神 ーリレー(真弓君・蜂谷友 フリーリレー(菅原孝義君 [経ネ2]・山口遊君 [健

となった。200メートルめ、同部にとって初の昇格

大会成 本学卓球部は男女 續 なった。

秋季関東学生卓球リーグ戦 が大田区総合体育館で開催 、関東学生卓球連盟主催) 9月2日から6日まで、 リー された に、所属する2部リー 場。男子は、5試合 て1勝4敗。 得失

ら30日までスカイホール豊

これに先立つ6月27日か

ばず最下位に。10 点差でわずかに及 月6日 (日) に行 に、2部残留をか われる入れ替え戦 選リーグを通過、決勝トー 卓球連盟主催)の団体の部 卓球選手権大会(日本学生 では、男子・女子ともに予 れた第83回全日本大学総合 田(愛知県豊田市)で行わ

5試合を戦って、 4勝1敗の2位。 女子は、同じく

中京学院大を退けたが筑波

大に敗れベスト16。女子

ナメントに進んだ。男子は

香季リーグに続い

敗退であった。 は、龍谷大に敗れ、

お詫びと訂正

大正大戦の蛯原(右)

藤原ペア

お詫びして訂正いたします。

が、昭和41 (春)・44 (秋) ~46 (春) K-DNA夏号(615号)におい 年度に1部リーグに在籍しておりまし グに昇格したことがないと記載しました て、卓球部が関東学生卓球連盟1部リー